

収集体制の見直しについて

市では、2023年度第1回から2024年度第2回までの審議会を通して、収集体制の見直しについて、次の4項目を中心に検討を進めてきました。

- 【検討事項①】収集品目を追加・・・プラスチックの分別収集
- 【検討事項②】収集方法を変更・・・資源も家の前に出せるように
- 【検討事項③】週の収集日数を変更・・・月曜日から金曜日の週5日収集に
- 【検討事項④】収集頻度を変更・・・不燃ごみは月1回の収集に

これらの検討項目は、議論の中で、委員の皆様からの多岐にわたるご意見を頂戴して、各検討に反映してまいりました。

これまでの審議会でもいただいたご意見を踏まえ、各検討項目の進捗状況と、それに基づいた今後の見通しを報告いたします。

【検討事項①】収集品目を追加・・・プラスチックの分別収集 について

検討事項	- 現在、JR 横浜線以南地域で実施している容器包装プラスチック分別収集について、現在の温室効果ガスの排出状況や資源化率の状況を踏まえ、早期に市全域で実施。 - 新しい資源ごみ処理施設の整備完了を待たずに、容器包装プラスチックの収集・資源化を進める方策を検討。
審議会でもいただいた意見等	- 近年、容器包装プラスチックと製品プラスチックを一括で処理ができる事業者が増えているということを聞いている。コストをかけて民間に処理委託をするのであれば、製品プラスチックも処理できる事業者へ委託するのが望ましいと考える。 - 製品プラスチックの資源化の実現や、住民の分別ルールの変更への負担を考えると、少々遠方の処理施設まで運搬が必要でも製品プラスチックの収集を実施する意義があるのではないか。 (など全15件)

昨年度までの 検討状況	・ 新施設の整備が完了するまでは暫定処理することとし、市外の中間処理施設への委託を前提として検討を進めていました。 ・ 運送距離が長くなることが課題となっていました。
現在の状況	・ 2024年9月に容器包装プラスチックの収集運搬委託事業者が決定し、業務契約を締結しました。 ・ プラスチック中間処理事業者の調査を進めました。容器包装プラスチックの中間処理事業者は見つかりましたが、製品プラスチックを含んだ場合の中間処理事業者は調査中です。製品プラスチックも含めた市全域での収集に向け、引き続き事業者の調査を継続します。
今後の検討	・ 容器包装プラスチックの分別収集の市全域化に伴い、店頭回収（トレイ、ペットボトル、紙パック）の市としての収集業務の見直しを検討します（店舗独自事業への移行を検討）。 ・ 製品プラスチックと併せた「プラスチックごみ」について、市民のみなさまに排出いただく方法と収集方法の検討を進めます。

【検討事項②】収集方法を変更 について

【検討事項②－１】収集方法を変更・・・戸建住宅の資源を戸別収集に

検討事項	・ ビン、カン、有害ごみ、ペットボトル、古紙、古着の収集を、戸建住宅は集積所収集から戸別収集へ変更（集合住宅は引き続き集積所収集）
審議会でいただいた意見等	・ 事業者の負担が増加しないような方法を検討してほしい。 ・ 集合住宅で実施しないのであれば、効果が限定的になるのではないか。 （など全15件）
昨年度までの 検討状況	事業者ヒアリングや他市の実施状況調査などを行いました。

現在の状況	- 戸別収集化するには1台の収集車両に2名の乗車が必要となることや、約9万世帯分の戸建住宅の収集を実施することから、実現可能か慎重に見極める必要があります。 - 働き手不足の状況から、可燃ごみ事業者の働き方改革（【検討事項③】週5日収集）の検討を優先します。戸別収集化につきましても引き続き検討します。
今後の検討	事業者とのヒアリングを継続しながら引き続き検討します。

【検討事項②－２】収集方法を変更・・・小型家電の分別収集

検討事項	- 市民センター等の公共施設に設置している小型家電回収ボックスでの収集（拠点回収）から、戸建住宅は戸別収集、集合住宅は集積所収集へ変更 - 変更に伴い、拠点回収を廃止
審議会でいただいた意見等	- 周知方法について、高齢者でも分かりやすい周知を望む。 - 集積所にも掲示するなど周知に工夫を。 - 市民がいつでも排出できる環境は必要と考える。拠点回収は継続してほしい。（など全19件）
昨年度までの検討状況	周知方法について、各広報媒体やSNSの活用のほか、町内会・自治会へ回覧板用のチラシや、不動産管理組合へ外国語対応のチラシを配布するなど、市民のみなさまに幅広く周知できるような方法を検討しました。
現在の状況	- 充電式小型家電の収集と不燃ごみ収集時の破袋、電池を取り除く作業を併せて実施して、事業効果を確認中です。 - 拠点回収について、行政収集開始後も回収量がほぼ同じ水準で推移していることから、市民のみなさまにとって利便性が高く、日常的に利用されている状況が確認できました。 - 集積所に、リチウムイオン電池と充電式小型家電の注意書きを表記した看板を設置します。

今後の検討	・ 当面の間、充電式小型家電の収集と不燃ごみ収集時の破袋作業を継続し、火災対策の事業効果を引き続き確認します。 ・ 市民のみなさまが排出しやすい環境を維持するため、拠点回収も引き続き継続する方針です。
-------	---

【検討事項③】週の収集日数を変更…月曜日から金曜日の週5日収集に

検討事項	・ 土曜日の収集を廃止し、月～金曜日の週5日収集に変更。 ・ 可燃ごみは月・木と火・金の2パターンにし、空き日となる水曜日に別品目(雑がみ)を収集。 ・ 収集地区割を週5日収集対応に変更(13地区から10地区に変更)。
審議会でいただいた意見等	・ 事業者が人を雇用しやすい環境の実現につながる。ぜひ検討していただきたい。 ・ 収集に携わる人員が現状のままでもできるような計画検討が必要。 (など全7件)
昨年度までの検討状況	・ 事業者ヒアリングや他市の実施状況調査などを行いました。
現在の状況	・ 引き続き、事業者ヒアリングや他市の実施状況調査などを行いました。事業者ヒアリングでは、収集作業員のワークライフバランス確保のため、週5日収集を希望する意見をいただいた一方で、将来的には週5日になることに肯定的ではあるものの、収集作業員や収集車両を増やす必要があるため、早々の実施には体制の整備が難しいという意見もいただいています。 ・ 現状のまま週5日収集化となれば、約1.4～1.5倍の車両増が必要となるため、まずは収集業務を効率化し、委託事業者の負担を軽減できる方法について検討を進めています。 ・ 収集業務を効率化する方法の1つとして、収集支援システムの導入を進めています。
今後の検討	・ 事業者などから要望があるため、優先的に検討を進めていきます ・ 2026年度の容器包装プラスチック収集開始に伴い、必要な人員がさらに増加することから、収集開始後の影響を見据えながら、再度課題の洗い出しを行います。

【検討事項④】収集頻度を変更…ビン・カン、古紙・古着は2週に1回の収集に

検討事項	ビン・カン及び古紙・古着の収集を、現状の週1回から2週に1回に変更。
審議会でいただいた意見等	安定した収集体制を継続するために、市が収集主体となるだけでなく、民間企業などへ回収の働きかけをするなどの見直しをしても良いのでは。(など全6件)
昨年度までの検討状況	他市の実施状況等を調査しました。
現在の状況	- 可燃ごみ事業者の働き方改革(【検討事項③】週5日収集)の検討と併せて、収集頻度の変更につきましても引き続き検討します。 - 収集以外の回収方法として、FC 町田ゼルビアとの協働による古紙回収会を町田市バイオエネルギーセンターで開催しています。(月1回開催)
今後の検討	- 市民のみなさまに排出いただく方法と収集方法の検討を進めます。 - リサイクル推進店のスーパーやドラッグストア等に自主回収実施状況等のアンケート実施の検討を進めます。